

平成23年度の鹿追町の収入と支出の総計算である「決算」がまとまり、9月に行われた町議会で承認されました。

鹿追町の会計は、町民皆さまのサービスの基本となる「一般会計」と特定の事業を行う「特別会計」に分かれています。ここでは、一般会計について説明します。(特別会計については6ページ参照)

平成23年度の決算は黒字でした

平成23年度の一般会計決算額は収入で65億90万円、支出で61億8060万円となりました。収入から支出を差し引くと3億2030万円の黒字ですが、ここから平成24年度に使い道が決まっている1578万円を引いた残りの3億452万円が実質的な黒字となります。

平成22年度決算とどう変わったの？

収入・支出決算の比較表を見てみると、まず収入について、自主財源の3分の1を占める町税は、平成22年度に比べ

1834万円増の7億6007万円となりました。内訳では、固定資産税、軽自動車税、市町村たばこ税で3517万円増えたものの、町民税、入湯税で1683万円減少の決算額となっています。また、国庫支出金は、平成22年度に地域活性化関連事業や瓜幕小学校・鹿追中学校耐震改修等の事業が完了、道支支出金についても強い農業づくり事業が終了したことにより大幅な減少となりました。

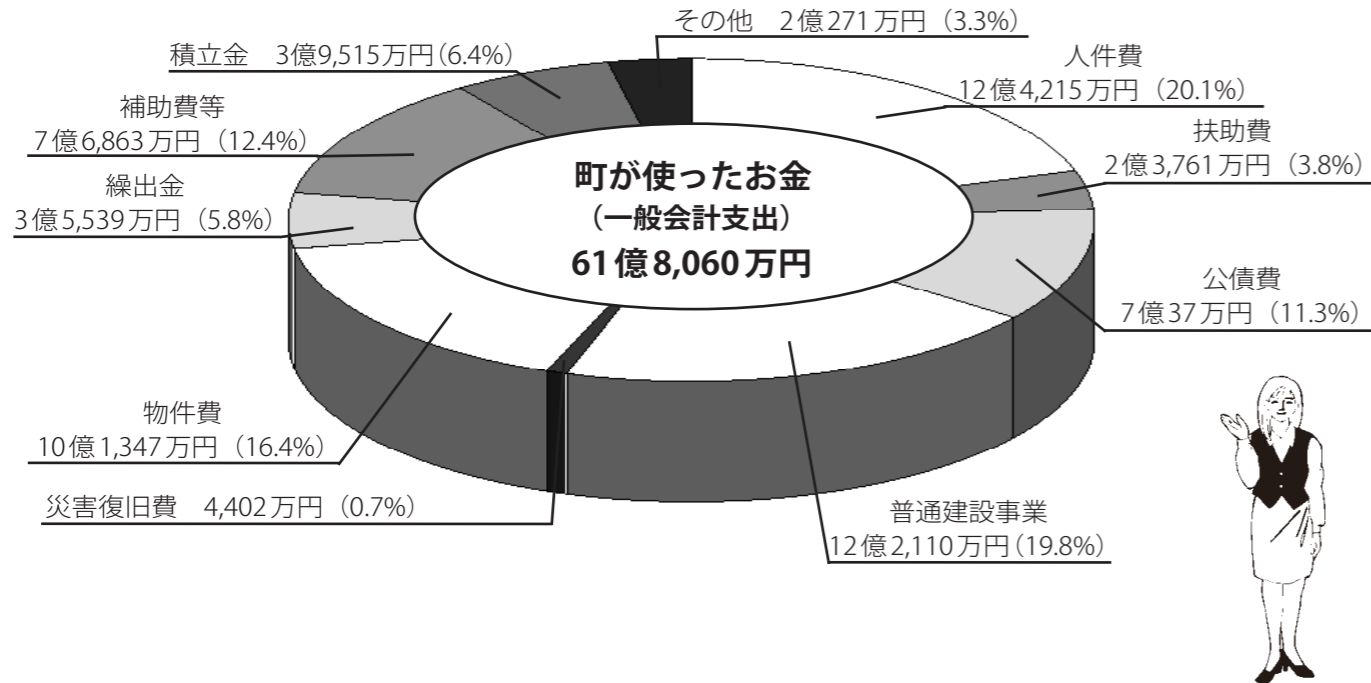
地方交付税についても、雇用対策・地域資源活用臨時特例費廃止などの要因により3733万円の減少となり、収入総額で6%減の65億90万円となりました。

次に支出について、積立金は、土地開発公社解散に伴う積立金の減少。普通建設事業についても、収入でもありましたとおり、地域活性化関連事業や瓜幕小学校・鹿追中学校耐震改修等の事業が完了したことによる大幅な減少となりました。また繰出金においては、国民健康保険特別会計繰出金増加などにより11.5%増えています。

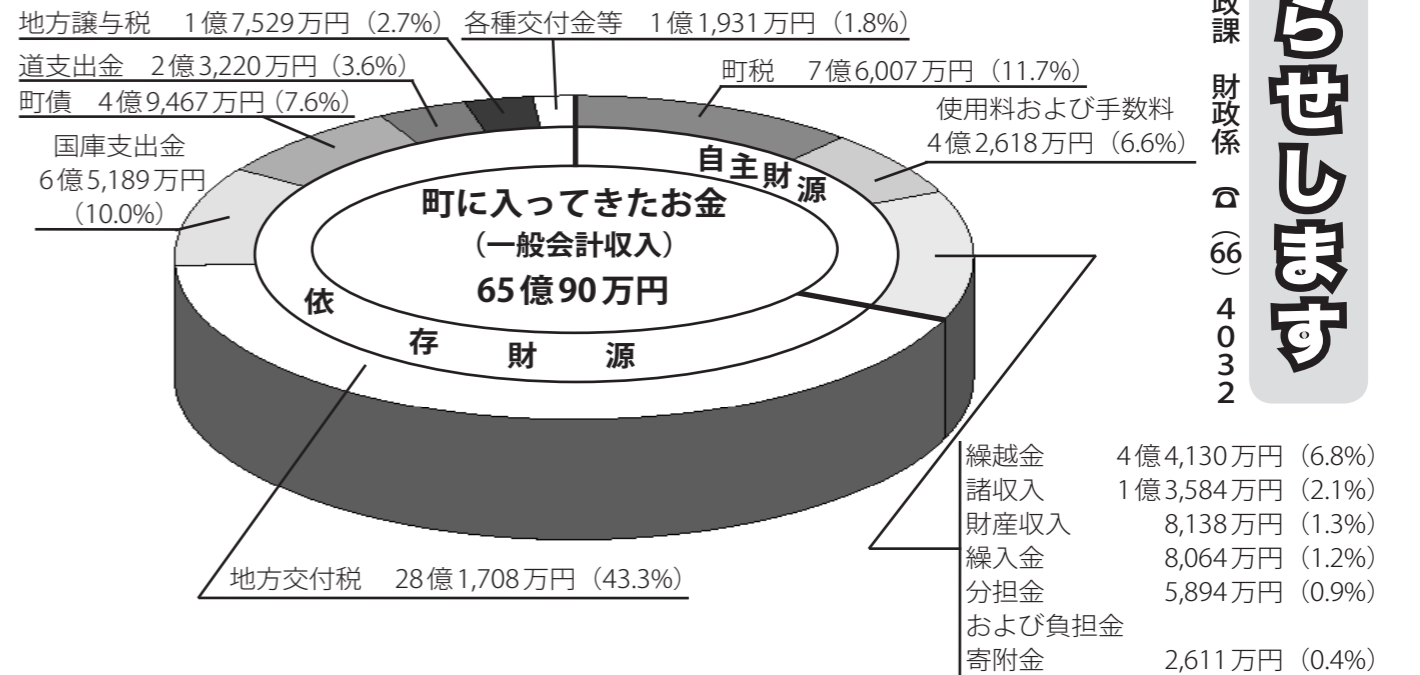
平成22年度国の補正予算に伴う繰越明許事業と一体で執行された予算編成で、景気・雇用情勢を踏まえた有利な補助制度を積極的に活用した財政運営となりました。

平成23年度も黒字決算となり、これからも、現役世代と将来世代の負担の公平性に留意し、健全な財政運営を行ってまいります。

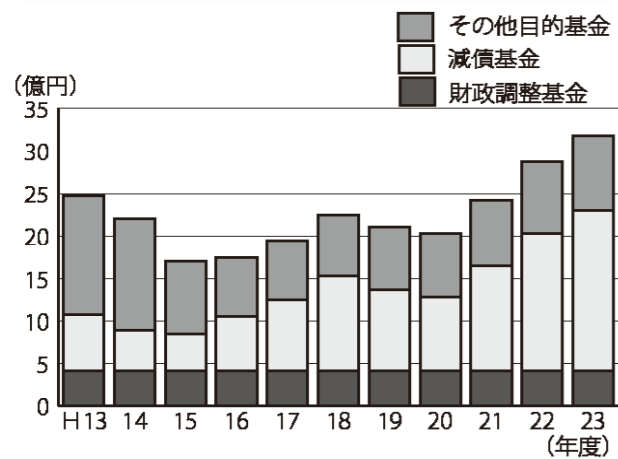
平成23年度 歳出



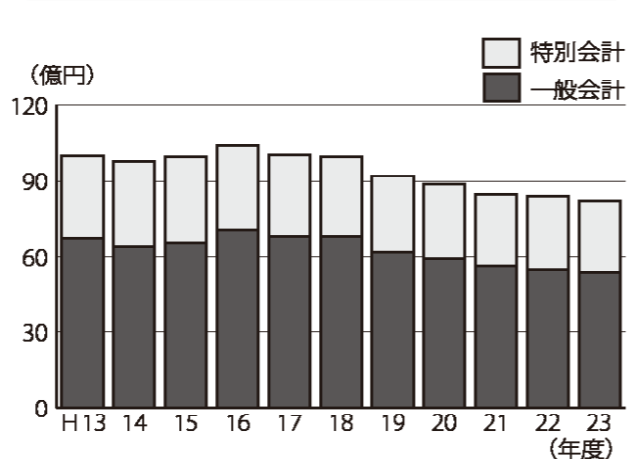
平成23年度 歳入



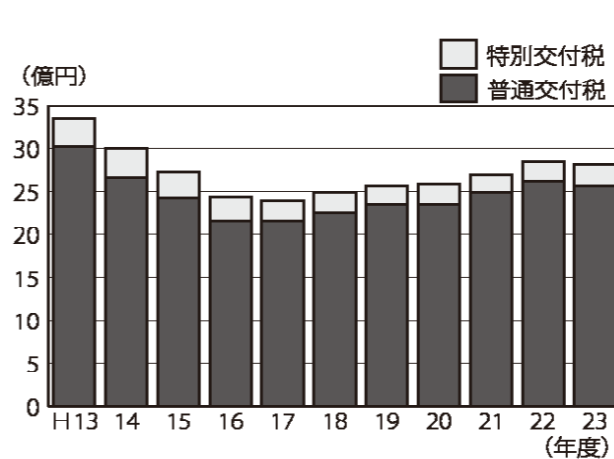
基金 (貯金) の推移



町債 (借金) の推移



地方交付税の推移



町税の推移

